第4回第2次議会運営活性化推進協議会 協議概要

- 1 日時 令和4年2月2日（水）
午前9時30分から10時25分まで
- 2 会場 議事堂3階 第1委員会室
- 3 出席者 （委員）川村委員長、森山副委員長、
前田委員、石川委員、中島委員、川合委員、段木委員、
白鳥委員、酒井委員、近藤委員、伊藤（隆）委員、
櫻井（崇）議員（阿部委員の代理）、椛澤委員、
中村委員、松井委員
（オブザーバー）岡田議員
（事務局）深山事務局長 他9人
- 4 傍聴者 （報道関係）3人
（一般傍聴者）なし

5 協議事項及び協議結果

（1）委員会機能の充実について

<協議内容>

委員長から、現行の常任委員会が所管する局の組み合わせについて再検証を行いたい旨の発言があり、事務局から、本市の常任委員会が所管する局の組み合わせの状況、各常任委員会の開催日数と審査案件数・各分科会の開催時間の状況、及び各政令指定都市の状況について説明があった。

これを受けて、委員長から、正副委員長で改めて資料を確認したところ、所管局の組み合わせについては、おおむねバランスがとれていることが確認できたが、各論的に検討の余地があるとして以下の3点が示された。その後、事務局から補足説明がされ、協議を行った。

<委員長から示された検討案>

- ① 市民局の取扱いの再検討
- ② 区役所が所管局として明示されていないこと
- ③ 委員会の名称

<主な意見>

- ・ 議論を効率的に進めるため、当日会議に使用する資料や協議したい内容をあらかじめ提供していただきたい。
- ・ 委員会機能の充実のためには、このような協議する枠組みだけをつくっても、議員一人一人が委員会に対する取組をしっかりとしていかなければ、本来の委員会機能の充実になるのか疑問がある。正副委員長が、課題だと感じられるのであれば、もっと具体的に正副委員長案を示していただくことが必要ではないか。
- ・ 常任委員会での審査がしやすい組合せはどれなのか、などを見極めながら、配分のあり方を熟慮する必要があるのではないか。委員会が所管する区役所の位置づけについても、千葉市の区役所は予算がそれほどない中で、

どこまで区役所に重きを置けるのか、また、本市と区役所の位置づけが異なる他政令市と同様な扱いができるのか、というところも疑問がある。全体的なところを整理してから再度議論をするという考えで、一度差し戻しされてはどうか。

- ・ 委員会の名称や配分の話が出ているが、唐突感が余りにもありすぎる。多くの議員が、正副委員長が提案する事項を課題であると認識しているのであれば、当然議論をして決めていかなければならないが、少なくとも現状において、委員会の名称や市民局の取扱いが問題であると認識はしていない。名称等これまでの経緯をきちんと整理し、協議スケジュールを提案していただいた上で、議論を進めていただきたい。
- ・ 例えば、市民局は平成22年に環境経済委員会に移したが、その結果はどうだったのか。よかった点、悪かった点も含め勉強してから、議論できるとありがたい。区役所の明記についても、書類上単に明記すればいいのか、区役所の予算をしっかりと見るといふところまで落とし込むのかなど、目標とするところも明らかにしていただけると議論がしやすいのではないかな。
- ・ 委員会機能の充実については、これまでも議員間討議、委員会発議による政策条例の提案など協議されてきており、そういう部分を具現化していくことが、委員会機能の充実であり、今後議論していく必要がある。

<協議結果>

本日の意見を踏まえ、正副委員長で再検討し、改めて各委員に提示することとなった。

(2) 議会のICTについて

<協議内容>

令和4年第1回定例会以降におけるペーパーレス会議の試行について、事務局から説明があり、その後、協議を行った。

<主な意見>

- ・ ペーパーレス化は、議会の問題だけではないため、執行部からも意見をもらいながら、検討を進めていく必要があると考える。
- ・ 第1回定例会で試行が終了することに伴い、次回定例会前までに結論を出すにせよ、判断するにあたっての方針や考え方、例えばこれから結論を出していくためにもどういう観点で会派で判断していったらいいのか。このまま5月に集められて結論を求められても恐らく判断できないと思う。非常に重いテーマなだけに、会派としてもしっかりと意見をまとめて来れるよう、判断するための、いわゆるシナリオを示して欲しい。

<協議結果>

資料のとおり試行を行うことが了承された。

6 報告事項

(1) 文書による一般質問について

前回の会議で取りまとめた検証結果を反映して変更を加えた先例案が事務局から提示され、了承された。今後、文書による一般質問を実施する場合には、この内容により行われることとなる。